

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.2	
1 音環境		4.0	0.15	3.5	1.00	3.5	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		5.0	0.50	4.0	0.50		
1 開口部遮音性能	遮音等級T-2以上を採用。	5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	遮音等級LL-40以上を採用。	-	-	5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	1.00		
1 室温		-	-	-	-		
2 外皮性能		3.0	1.00	3.0	1.00		
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御		-	-	-	-		
2.3 空調方式		-	-	-	-		
3 光・視環境		2.6	0.25	3.3	1.00	3.2	
3.1 昼光利用		3.0	0.35	3.0	0.35		
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.35	4.0	0.35		
1 昼光制御	住居部カーテンと庇により制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		-	-	-	-		
3.4 照明制御		3.0	0.29	3.0	0.29		
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.3	
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7	
1 機能性		2.2	0.40	2.6	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得予定	5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	リビングダイニング:床シートフローリングt12(二重床H100)、壁ビニールクロス(PBt12.5)、天井ビニールクロス(PBt9.5)	5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		1.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-		
3 電気設備		1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.2</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり					<b>3.0</b>	0.50	
	1 階高のゆとり				<b>3.0</b>	0.60	
	2 空間の形状・自由さ				<b>3.0</b>	0.40	
3.2 荷重のゆとり					<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性			<b>3.2</b>	1.00			
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
	2 給排水管の更新性	給排水管等の横引配管は置床又は二重床下部を利用している。	4.0	0.20			
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.1</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.94 LED照明設備を導入。	<b>3.6</b>	0.50	-	-	<b>3.6</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
	集合住宅以外の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
	集合住宅の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 水資源保護			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
	1.1 節水		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.7</b>	0.60	-	-	<b>2.7</b>
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.5</b>	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率83%	<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.5</b>	0.33	-	-	<b>2.5</b>
	2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>2.4</b>	0.33	-	-	<b>2.4</b>
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		<b>1.6</b>	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制				-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	